



【建設副産物リサイクル特別ゼミナール】

特定非営利活動法人
建設副産物リサイクル促進機構

日時：平成16年9月14日(火) 14:30~17:00
場所：日本教育会館 一ツ橋ホール 703 会議室
東京都千代田区一ツ橋 2-6-2
TEL: 03-3230-2831



内容：

1. 淀川における建設発生土リサイクルの現状

講師：(社)近畿建設協会枚方支所 管理技術者 雀部和男



(1) 淀川のリサイクルの現状

- ・ 全て建設発生土にて調達
- ・ 外部工事搬入先対象エリア (運搬距離 約 30 ~ 40km)
- ・ 16 年度年間土砂利用量 (約 50 万 m³)
- ・ スtockヤード整備 (土質改良を実施)

(2) Stockヤードの活用

- ・ 大規模・中規模・小規模Stockヤードの管理が理想
- ・ 現在3ヶ所のStockヤードを活用 (前島、御幸橋、久御山)
- ・ 搬入、搬出フローにて管理



2. IT を活用した施工管理の業務改善

講師： 国土交通省国土技術政策総合研究所

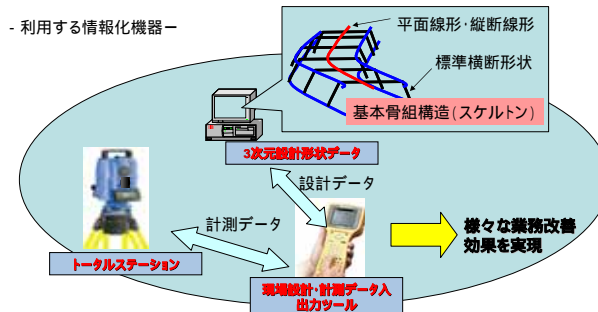
高度情報化研究センター情報基盤研究室 主任研究官 有富孝一



(1) 本研究の目的

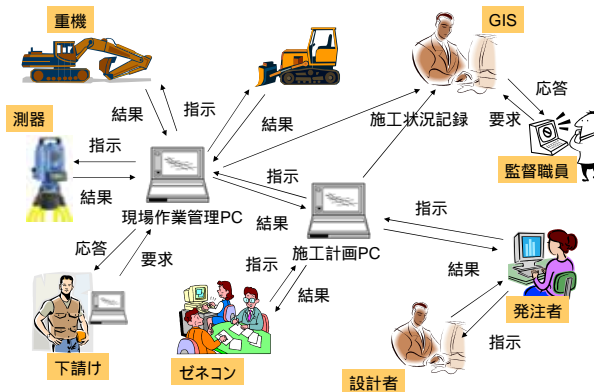
本研究の目的

道路土工において、情報化機器を利用することにより、より高品質な工事を、迅速、効率的に構築する事により、安価で信頼性の高い社会資本を国民に提供する手段を提案するものである。



(2) 情報化による施工の業務改善効果の波及

情報化による施工の業務改善効果の波及



事務局より : 実務担当者による現場に直結した課題を特別ゼミナールとして初めて開催した。会場はほぼ満席（参加者 52 名）となり、活発な質疑応答も行われ、有意義な時間であったと思う。リサイクルのキーワードは、ストックヤード コミュニケーションツールと考えており（理事長談）、今回のテーマは、建設発生土に関するストックヤードの活用事例、コミュニケーションツールとしての情報（IT）の活用事例とタイムリーなものであった。

資料 : 当日配布資料は事務局にありますので下記に連絡ください。
鈴木 TEL 03-3872-6064 k.suzuki@kotohcorp.co.jp